

企業と政府が協力し、より良い回復を

SBT イニシアチブおよび 1.5°C を目指すキャンペーンにおける企業の声明

コロナウイルス (COVID-19) により、我々は人々とその暮らしを壊し、サプライチェーンを混乱させ、不平等を深化させ、持続可能な開発目標の進捗を止める世界的なパンデミックに直面しています。同時に、私たちは人々と私たちを支えるすべての自然システムに取り返しのつかない影響を与える地球規模の気候緊急事態に直面し続けています。これらの相互に関連する危機に直面して、私たちはどちらか一方に取り組む余裕はありません。人間の健康は地球の健康に依存しています。私たちは両方に取り組むことができますし、また取り組む必要があります。

国々が COVID-19 に対応して経済援助と復興パッケージに取り組み、パリ協定のもと強化した国としての気候計画を提出する準備をしている今、私たちは各国政府に対し、大胆な気候行動に基づくより良い未来を再考するよう求めます。私たちは、Science Based Targets イニシアチブとその 1.5° C を目指す企業キャンペーンを通じて、野心的な企業の排出削減目標を設定していることから、レジリエントなゼロカーボン経済を達成するために引き続き尽力しています。私たちは現在、政策と復興計画を最新の気候科学に合わせることで、灰色の経済からグリーン経済へのより迅速で公正な移行を優先するよう政府に要請しています。

私たちは、「いつも通り (BAU)」を超えて、人々、豊かさ、そして地球に最大の影響をもたらすために、連帯して協力する必要があります。COVID-19 からより良く回復するために、私たちは以下のことを続けます：

- 1. ベストな決定と行動が科学に基づいていることを実証します。** 科学に基づく高い目標を実装することで、世界が 1.5°C の軌道にのり、それによって世界の人々がより健康で安全になり、地球もより健康で安全となることを目指しています。
- 2. 構造的な社会経済の転換をもたらす回復やレジリエンスに投資します。** 化石燃料からダイベスト（投資撤退）し、低炭素でレジリエント（柔軟性を高める）解決策を生み出すために、グリーンな仕事、持続可能な成長を優先します。これは、事前や人々を守り、2030 年のアジェンダとパリ協定を実現するものです。
- 3. 政府と協力し、この動きを拡大します。** 企業が自信をもって迷いなく高い目標に基づいた行動がとれるように、1.5° C の軌道とゼロカーボン経済に沿うことができる政策を政策立案者が実施することを提唱します。

我々がより良い回復を行うために、政府や政策立案者に対して、我々企業が回復の際にも2050年より十分前にネットゼロ排出に向かおうとしていることに対して、これに合致した政策を出してもらいたいと希望しています。我々（政府と企業）が一緒になれば、将来のショックや災害への脆弱性を減らし、地域のレジリエンス（柔軟性）を構築することができます。ゼロカーボンでレジリエントな経済へのシステムの移行はもうそこに見えています。我々のただ一つの未来は、このビジョンを現実とすることにかかっています。ぜひ我々の仲間になってください。